



「隣人愛」に基づく SSH

すべての科学技術や人間の活動はキリスト教信仰の「隣人愛」に基づき、世界の人々環境に深く配慮されたものでなければならないと考えます。

今回は、本校卒業生で現在カナダの癌研究所で免疫学を研究しているマテーラウラ先生による第5回SSH特別講演会の様子と本校初の試みである女子のための科学を考える会『サイエンス女子カフェ』について報告します。

《第5回SSH特別講演会 12月9日》

講演テーマ 「自分の道を切り拓く」
ブリティッシュコロンビア癌研究所

マテー ラウラ先生（本校卒業生）

12月9日、本校卒業生のマテー ラウラ先生を講師にお招きし、「自分の道を切り拓く」という題目で講演会を実施しました。マテー先生はカナダの大学で生化学を学び、現在もカナダの癌研究所で免疫学を研究しておられます。

日本と海外での学びの違いを知り、主体的に学ぶ力の必要性をあらためて感じました。また、女性が科学の分野でもっと活躍するには先入観や前例にとらわれない姿勢が大切だとも知りました。自分の学びたいことを最適な環境で学んでほしい、という講師のメッセージを生徒たちは真剣に受け止めました。

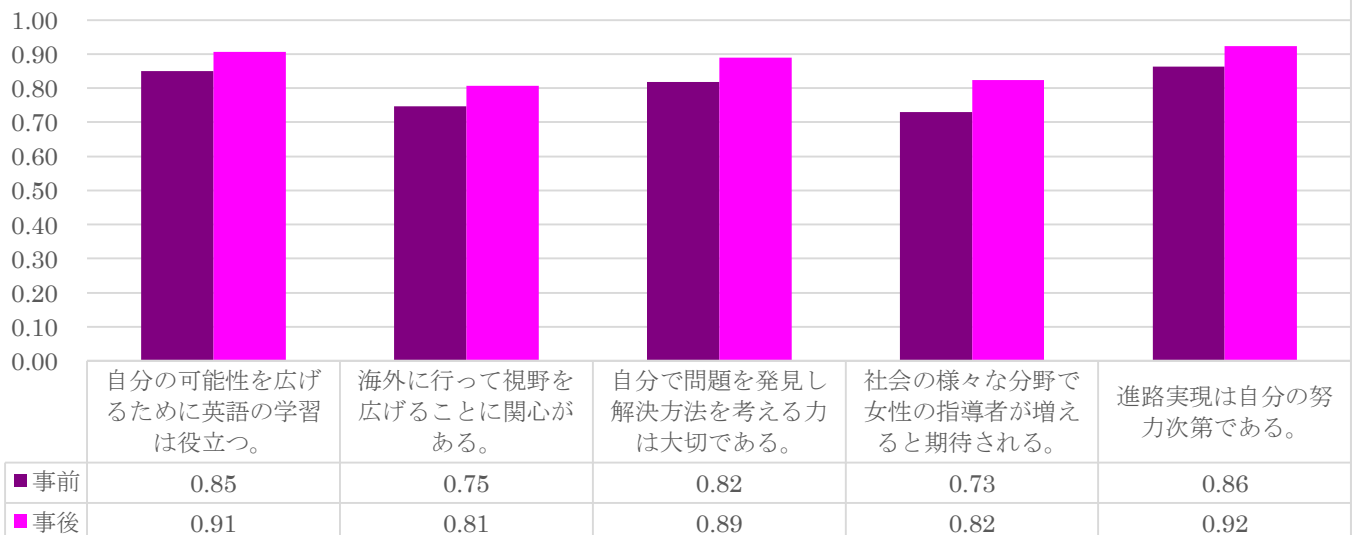


事前事後アンケート結果においても、いずれも5%水準で有意に上昇し、特に設問5の結果は、もともと努力は大切だと考えていた生徒が多く、そのほとんどが講演を聞いてさらに努力の大切さを確信したことを示しています(0.1%水準で有意に上昇)。努力することにより進路実現の可能性が広げられることや、社会の様々な分野での女性の指導者が増えることへの期待が高まるなど、生徒たちの今後の自己実現の指針になった講演でした。

【生徒の感想】

- ・山梨英和の先輩であり理系で海外の大学、大学院で学び、研究をしていることに強い憧れを抱きました。自分が本気で学びたいと思う分野を見つけていこうと思いました。
- ・お話を伺って、挑戦することの大切さや私たち女性の可能性を実感し、先生のように先輩で活躍なさっている研究者の存在を知り、自分自身も努力して将来の道を切り拓きたいと思いました。
- ・女性科学者が少ない現状の中で、先入観にとらわれず研究を続けている先生の姿は素敵だと思いました。
- ・自分の目標を山に例えて、山頂に行く方法は様々な道があるけれど、そのどの道を選んだとしても困難なことがあったり、山場があったりと、楽な道ばかりではないとおっしゃっていて、とても心に残りました。また、先入観から一歩踏み出すことが自分を大きく変えることができるチャンスだと思いました。

第3回SSH特別講演会事前・事後アンケート結果



《サイエンス女子カフェを開催しました》

11月19日、山梨英和中学校校舎においてサイエンス女子カフェ@山梨を開催しました。校内だけでなく県内の中学生・高校生など約80名の女子が科学について語り合う機会が持てました。

まずは、JAXA 研究員の広瀬史子先生による「やってみたい！をひたむきに」という題目での講演から始まりました。「管制室で働くにはどうすればよいですか？」という手紙を直接 NASA に送ったこと、その返事が基礎的な学問をしっかり学ぶことだという内容だった、と話されました。「あかつき」を打ち上げたときの軌道計算の話もあり、先生の講演に会場の全員が引きつけられました。



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究開発部門 第一研究ユニット 廣瀬 史子 先生

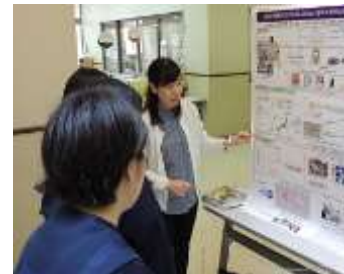
講演後は、ラウンドテーブル・ポスターセッション・クラフトコーナーが設けられた会場に移り、コーヒーや紅茶、お菓子などを楽しみながらそれぞれが興味のあるコーナーをまわりました。

理工系などの若手研究者とのラウンドテーブルでは、それぞれの大学の教授や大学生から、大学での研究内容やカリキュラムなどについて直接説明を受けました。

ポスターセッションには、県内外の高校や山梨大学にも参加いただき、多岐にわたる研究内容を知ることが出来ました。

正多面体を作るクラフトコーナーでは、中学生や小学生までが参加し、楽しくキーホルダーを作っている様子が見られました。

初めての試みでしたが、大変充実した時間を持つことが出来ました。来年度はさらに、内容を深め実施する予定です。



サイエンス女子の先輩が研究説明
山梨英和中学・高校は19日、女子学生に理系分野への関心を深めてもらうためのイベント「サイエンス女子カフェ@山梨」を開催した。写真



宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 開発部門研究員の広瀬史子さんが、研究者になるまでの経緯やJAXAでの仕事について講演。神戸工科大や金沢工業大など、理系分野について学べたと笑顔で話していた。

機敏さんは「研究内容に関する説明は難しい点もあったけど、関心のあるさまざまな理系分野について学べたと笑顔で話していた。」

11月20日
山梨日日新聞

【生徒の感想】

- ・講演会のお話がとても心に響き、私自身これからも自分のやりたい夢に向かって頑張ろうと思いました。サイエンスカフェはとても楽しいイベントでした。
- ・廣瀬先生のお話で、金星や JAXA について多くのことを学ぶことが出来ました。
- ・講演会後に廣瀬先生と勉強の方法や仕事の内容についてお話することができ、女性の活躍を実感することが出来ました。
- ・ラウンドテーブルは進学相談会とは違い、楽しく研究の話が出来ました。
- ・普段男性がポスターの説明をしていることが多いが、女子高校生のポスター発表を聞くことができたので、良かったです。

【来場者の感想】

- ・小学6年生の娘にも分かりやすく、科学への興味をかき立てられる内容でとても良かったです。
- ・大学の説明を受けられたり、他の人のポスター発表を聞いてとても楽しかった。色々な人と話すことが出来、このような機会があればまた来たいと思った。
- ・和やかな雰囲気の中で研究発表などができ、すばらしかったと思います。大学とも連携した企画は専門性も高く、良いと感じました。
- ・理系女子学生が大勢おり、大変励みになると感じました。楽しい交流会でした。

山梨英和中高 女子大学生に研究聞く イベント開催

私も「リケジョ」なれますか？

11月20日 読売新聞

北本市立山梨高等学校の女子学生が、山梨英和中学校・高等学校で、サイエンス女子カフェ@山梨に参加した。写真

山梨英和中学・高校は19日、女子学生に理系分野への関心を深めてもらうためのイベント「サイエンス女子カフェ@山梨」を開催した。写真

機敏さんは「研究内容に関する説明は難しい点もあったけど、関心のあるさまざまな理系分野について学べたと笑顔で話していた。」

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 研究開発部門 第一研究ユニット 廣瀬 史子 先生

次号ではドイツ研修旅行とその報告会についてと12月24日に参加したサイエンスキャッスルについてご報告します。

